

燈臺巡回船建造ニ関スル伺

各所燈臺ノ巡廻船テ一ホルノ儀ハ元来石炭ヲ多ク費シ製造不宜其上  
不断修覆ヲ加ヘ不申候テハ不相叶然ル處追々燈臺ヶ所数多ニ相成右  
船一艘ニテハ巡廻行届兼候就テハ別紙間尺ノ船一艘英國ヘ注文致度  
尤今ヨリ注文イタシ候テモ落成着港迄ハ凡ニケ年間モ相掛可申ニ付  
可然儀ニ候ヘハ早速右代價等同国ヘ問合ノ上尚可申進候依之別紙造  
製大意相添此段相伺申候也

明治六年三月七日

工部大輔山尾庸三

正 院 御中

伺之通

明治六年三月九日

(別紙)

(括弧内編者注)

工部省御用外車蒸氣船

出来積(仕様書)

船舩(船体)

ロイド氏ノ法ニ依リ一等

船仕上ケ十七年請合

(ロイド船級一〇〇A一、耐用年数十七年)

惣長サ(全長)

二五〇尺

水線長サ(水線長)

二二五尺

大巾横木(最大幅)

三〇尺

仕切(隔壁)

前部

一箇所

前荷部屋前へ

同

前荷部屋後口

同

中荷部屋前へ

同

後部

同

但下廣間板敷ヨリ船底迄

馬力

高壓低壓二百五十馬力許

(バカリ)

サアフェース・コンデンシング・エンジン

(Surface Condensing Engine)

冷水器

(復水器)

竈 四ツ附(火爐 四)

船ノ速度

十節半

フィツリングフロート軸心ヨリ軸心迄径リ二二尺許

フロート長サ九尺幅二尺五寸

石炭櫃(石炭庫) 十二日焚分入

前巻キ轆轤(ロクロ)(揚錨機)

中央両竈ノ蒸氣ニテ運轉仕掛

甲板

上甲板チーク樹ニテ前後ロ一面ニ出来、上甲板ト中甲板ノ

距離七尺五寸、中甲板ト下甲板ハパイン樹ニテ出来

傳馬船 (boat)

ツイン蒸氣傳馬 長二九(長さ約29尺の) 一艘  
尺許 (twin screw steam launch)

十挺楫傳馬 (ten oars life boat) 二艘

ギング傳馬 (gig) 同

ジョリー傳馬 (jolly) 一艘

船中間取

後廣間 (一等食堂) 一

寢室 十

寢棚二ツ、但兩側後ロノ二室ハ一ツ、

外廣間

賄方物入 一

乾物入 一

便所 一

賄方室 一

圖引室 一

前廣間 (二等食堂) 二十五人入

下等客間 (三等食堂)

男二五人 女十人 但シ男ハ水夫同様寢棚居付キ女ハ別ニコ

レヲ仕切

船乗間割

水夫二五人、火焚二五人、夫長四人、小遣十人

甲板

士官三人、水夫頭一人、船将一人、機関方三人、  
一等吸煙室一、二等吸煙室一、麵包焙所一、屠牛所一、  
一等便所二、二等便所一、上等浴室一、中等浴室一

船将部屋

船ノ後部ニ付ク

後廣間料理場

一

前 同

一

下等 同

一

綱具類

前檣綱具

スクエーヤ 角帆仕掛 (横帆)

中檣綱具

スクネル 片帆仕掛 (縦帆)

船廻り日覆柱前へ後口日覆張出シ

但シ前及ヒ中入口上ノ處ハ荷物揚ケ卸シ「デリック」仕掛

舵車 (操舵輪)

ブリチ並車後ヨリ運用非常備諸道具附舵部屋及ヒ圖室ハ「ブ

リヂ」ノ上ニ付ク

ポンプ

四ツ

内一ツハ前仕切ヨリ一ツハ後口荷部屋ヨリ余ハ機関部屋ヨリ

ノ仕懸ニ出来

ドンキー・インジン・ポンプ (donkey engine pump)

機関部屋船腹並ニ前及ヒ中ノ荷部屋ヨリ或ハ船外へ水ヲ出シ

又海水ヲ竈中或ハ甲板上へ取ルノ仕掛

機関部屋ノ「ヘンドポンプ」(hand pump)

竈中ノ水或ハ港内ニ於テ機関部屋船腹中ノ水ヲ出シ又甲板上

ニ水ヲ取ルノ仕掛

デッキ・ダウトンス・ポンプ (deck dounton pump) 一

後口ニ在ル方ハ後口荷部屋内、前ニ在ル方ハ前仕切ノ中ニテ

俱ニ海水ヲ取ルノ仕掛

但「ロース」ハ機関ノ「ポンプ」ヨリハ別段ナリ

後口廣間

一等飛脚船同様ノ出来、各室夜ノ明<sup>アキ</sup>リハ室間柱仕込ノ「ラン

プ」ヨリ取ル

船室ノ大氣ハ窓穴ヨリ通ハシ其穴ハ各室ノ模様ニ寄りニツ付

ルモアリ

廣間ノ大氣ハ天窓並ニ舳穴ヨリ通ス<sup>ステルンポート (stern port)</sup>

前廣間ハ結構清麗ニ出来上ケ

船将物入部屋

水夫物入部屋

機械方物入部屋

帆部屋

賄方粗品入